

第7節 経団連環境自主行動計画

1. 経緯

経団連では、1991年に「経団連地球環境憲章」を発表し、「環境問題への取り組みが企業の存在と活動に必須の要件である」ことを明確にし、環境保全にむけて自主的かつ積極的に取り組みを進めていくことを宣言した。

1996年には「経団連環境アピール」をまとめ、地球温暖化対策の推進や循環型経済社会の推進、環境管理システムの構築と環境監査の実施、海外事業展開にあたっての環境配慮に関し具体的な方針を宣言した。このような流れを受けて、1997年に「経団連環境自主行動計画」を発表し、わが国産業界の全産業レベルにおいて環境対策を着実に実施していくための継続的な仕組みを創設した。

2. 温暖化対策部分の概要

経団連環境自主行動計画の温暖化対策部門には34業種が参加している。これら34業種からの二酸化炭素排出量は、1990年度で4億7907万t-CO₂であり、これは1990年度の我が国全体の二酸化炭素排出量の約42.6%、産業部門及びエネルギー転換部門からの排出量の76.5%を占めている。

経団連は、「2010年度の産業部門及びエネルギー転換部門からのCO₂排出量を1990年度レベル以下に抑制するよう努力する」という統一目標を掲げ、各種の取組を行っている。

3. フォローアップと排出量結果

経団連では、毎年、自主行動計画の進捗状況をフォローアップし公表しており、2000年11月2日には、第3回フォローアップが公表された。

フォローアップでは、1999年のCO₂排出量は、前年度比約2.9%増加しており、1990年度に比して約0.1%下回っている。

＜参考：経団連自主行動計画参加業種によるCO₂排出量の推移＞

年 度	1990 年度	1997 年度	1998 年度	1999 年度
CO2 排出量	4 億 7907 万 t	4 億 9527 万 t	4 億 6498 万 t (90 年度比△2.9%)	4 億 7865 万 t (90 年度比△0.1%)

年 度	2005 年度見通し	2010 年度目標	2010 年度 BaU
CO2 排出量	4 億 9951 万 t (90 年度比 4.3%増)	1990 年度 レベル以下	5 億 2404 万 t (90 年度比 9.4%増)